



掛合中だより

令和5年度 1月号
雲南市立掛合中学校
2024. 1. 19 発行
文責 難波 順子



学校教育目標

ふるさとを愛し 自他を大切にしながら たくましく未来を切り拓く生徒の育成

<https://shimane-school.net/unnan/akeya-chu/>



新しい年に希望をもって



令和6年新しい年が明けました。地域・保護者の皆様にはすこやかに新しい年をお迎えのことと思います。本年も変わりませずどうぞよろしくお願いいたします。

1日に発生した能登半島地震により、被害に遭われた方々には心よりお悔やみとお見舞いを申しあげます。1月9日の始業式の前に、全校で被災され亡くなられた方々への黙禱を捧げました。

始業式では時間をとり、生徒達にこの地震の状況について写真やデータをもとに話をしました。マグニチュード7.6、最大震度7、建物倒壊、津波、火災、土砂崩れ、道路陥没により通行困難な状況で救助や支援が滞っていること、8日現在で避難所避難者が雲南市の人口に及ぶ数に上ること、2,000人以上が孤立状態にあり、17,000戸の停電、71,500戸の断水、避難所404箇所、物資の不足等深刻な状況を説明しました。

そしてその救援のために多くの県から自衛隊6,000人、警察官、消防救助隊、災害派遣医療チーム、日本赤十字職員、自治体職員の派遣が行われ、正月休みを返上してその任務に当たっておられること、また、要請が無くとも各種企業の物資援助、近辺住民による炊き出しなどで被災者の方々に応援する姿も紹介をしました。雪が降る中、建物倒壊の危険をはらみながらも、懸命に人命救助に当たられるなど、救助や支援される姿には、誰もが敬意の気持ちをもたれたことと思います。

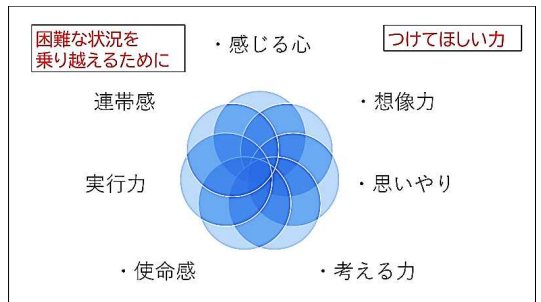
生徒達には、救援に当たられた方々のように、周りが困っている

ときに力を出せる人になってほしいという話もしました。そのためには、上図のような力が必要となり、今学校で行っていることはその力が十分に養えるものであるという話もしました。被災地の1日も早い復旧・復興を祈ります。

3学期を始めるに当たり意識してほしいこととして、「次の学年、学校へスムーズに進めるための準備を充実させること」、「校舎前にある石碑にちなみ、『友情』を更に深め協働していくこと」の2点についても話をしました。

始業式の後には、各学年代表1名が新年の抱負の発表を行いました。

それぞれが昨年を振り返り、新しい年を前向きに、向上心をもって活動する決意を述べ、会場には清らかな空気が広がりました。



「友情」の石碑



国内の地震被害を始め世界情勢に至るまで厳しい状況も現実としてありますが、だからこそ気持ちの中に希望の灯を持ち続けていかなければと、生徒達の前向きな姿から改めて思いました。実りある1年にしていきたいと思ひます。

◆地域・社会のためにできること～頑張っています！ボランティア活動～

今年度も生徒達は様々な場所でボランティア活動に参加しました。下の写真はその一部です。掛合町ふるさとまつりのように自治体からの募集や、雲南市がキャリア教育の一環として行っている「夢」発見ボランティアの募集から選んで参加しています。

動機は、社会と関わりたい、地域や人の役に立ちたい、やりがいのある活動をしたいなど様々です。ボランティアは、発見があり視野の広がる体験でもあり、自分が何かの役に立てたという思いは何ものにも代えがたい貴重な体験です。これからも多くの生徒に自発的に取り組んでほしいと思います。



◆おめでとう！～吹奏楽部
全日本アンサンブルコンテスト
鳥根県大会 金賞受賞！！

12月23日(土)大田市民会館にて標記の大会が行われ、夏の吹奏楽コンクールに続き、見事金賞を受賞しました。吹奏楽部から、3年生(フルート)、2年生2名(アルトサクソ、クラリネット)が木管三重奏で出場しました。曲は「見えない鳥たち」(田村修平作曲)で、高度なテクニックで楽器同士が会話をしているかのように鳥のさえずりを見事に表現し、聴衆を惹きつけました。短い練習時間の中での努力を大いに讃えたいと思います。



吹奏楽部から、3年生(フルート)、2年生2名(アルトサクソ、クラリネット)が木管三重奏で出場しました。曲は「見えない鳥たち」(田村修平作曲)で、高度なテクニックで楽器同士が会話をしているかのように鳥のさえずりを見事に表現し、聴衆を惹きつけました。短い練習時間の中での努力を大いに讃えたいと思います。

◆新生徒会スローガン発表！
「輪」 感性の輪 尊重の輪 創造の輪

新生徒会のテーマが決まり、テーマとその趣旨を生徒会三役の生徒達が全校に説明を行いました。学校教育目標をもとに、前期生徒会テーマの「鋼」を受け継ぎ、更に発展させていこうとする思いがよく伝わってきました。新生徒会の活動を皆で盛り立ててほしいと思います。



する思いがよく伝わってきました。新生徒会の活動を皆で盛り立ててほしいと思います。

◆川柳作家 天根夢草さんの紹介をしました。

天根さんの
川柳紹介

どんな状況を
詠んだ句なの
か、意見交換
をしました。

本名 天根 利徳 さん 第10期卒業生
職業 川柳作家 川柳教室講師 川柳機関紙「川柳展望」編集者
住所 掛合町入間出身 現在大阪府にお住まい
年齢 82歳
本校との関わり 8年前から、年に数回ご寄付をいただいている
校内川柳大会:天根杯の審査、トロフィー授与
天根文庫として図書室へ新刊購入



捨てそうになる乾電池
いっぽうを

天根夢草さんの作品紹介

1月15日(月)全校朝礼時に、天根さんの作品鑑賞や、故郷を大切に思っておられること、川柳作家として活躍されているだけでなく、80歳で大阪の定時制高校に入学し勉強に励んでおられることなど、偉大なる先輩の姿を紹介しました。日頃のご支援にも大変感謝申し上げます。

○お知らせ○

2月8日(木)
9:00~10:00

鳥屋尾 敬先生ご寄贈の絵画の除幕式を行います！

本校第35期卒業生の長島佳生様のご提案で、その当時本校に勤務されており現在も画家として活躍されている鳥屋尾 敬先生制作の絵画を掛合中学校にご寄贈いただくことになりました。当日は、鳥屋尾先生に絵画にまつわるトークもさせていただきます。当時生徒でおられた石飛市長様もご来校予定です。絵画に興味のある方、鳥屋尾先生にご縁のある方など、是非お越しください。

